



関連病院実習カリキュラム（神経内科 1 週間）

病院名：碧南市民病院

診療科：神経内科

期間：1 週間

実習管理責任者：杉浦誠治

カリキュラム責任者：伊藤慶太

実習指導医：伊藤慶太、土井英樹

1 実習目標

一般目標：

一般臨床医として必要な神経学的診断と治療に必要な基本的知識、基本的技能、及び他の医療従事者との協調性や臨床医に必要な態度や価値観を身につける。

行動目標：

- ① 患者及び家族との良好な人間関係を確立する。
- ② 望ましい面接技法と系統的問診法を用いて正確で十分な病歴採取ができる。
- ③ 系統的診察により全身の所見を得ることができる。
- ④ カルテに P O S の形式で適切な記載ができる。
- ⑤ 症例を適切に要約し、状況に応じた呈示ができる（入院概要録を含む）

2 実習方略（実習方法）

(1) オリエンテーション

毎週月曜日午前 8 時 30 分から神経内科外来において実施

(2) 受持ち患者

常時最低 3 ～ 4 名の患者を担当する。

(3) 病棟実習

- ① 入院受持ち患者の診療は毎日必要に応じて夜間休日も行い、診療内容を電子カルテに記載する。
- ② 治療、検査計画の立案に参加する。
- ③ ベッドサイドで行われる基本手技は、基本的手技ならば、指導医のもとで自ら行う。

(4) 外来実習

毎週月曜日は神経内科外来において、新来患者の予診、診察を行い、その患者さんに対する指導医の診察を合わせて見学する。

3 実習評価（チェックリスト）

(1) 診察法

- 適切な医療面接が行える
- 神経学的診察を正確、かつ要領よく行える

**(2) 基本的臨床検査法**

- 血液、尿及び髄液の検査結果を解釈できる

(3) 画像検査法

- 頭部CT、頭部・頸部MRI、頭蓋骨X-P、頸椎X-P、骨格筋CT、頭頸部血管造影の写真を解釈できる

(4) 生理検査

- 末梢神経伝導速度、筋電図、脳波の結果を解釈できる

(5) 救急対処法

- 意識レベルの評価ができる
- 所見より脳のどの部位の障害か推定できる
- 全身の診察を正確かつ要領よく行える

(6) 医療の場での人間関係

- 患者や家族との適切な人間関係をつくることができる
- 指導医及び他の医師、コメディカル・スタッフとの適切な人間関係をつくることができる

(7) 医療文書の作成

- 適切な診療録・入院診療概要約が作成できる
- 適切な症例呈示ができる